

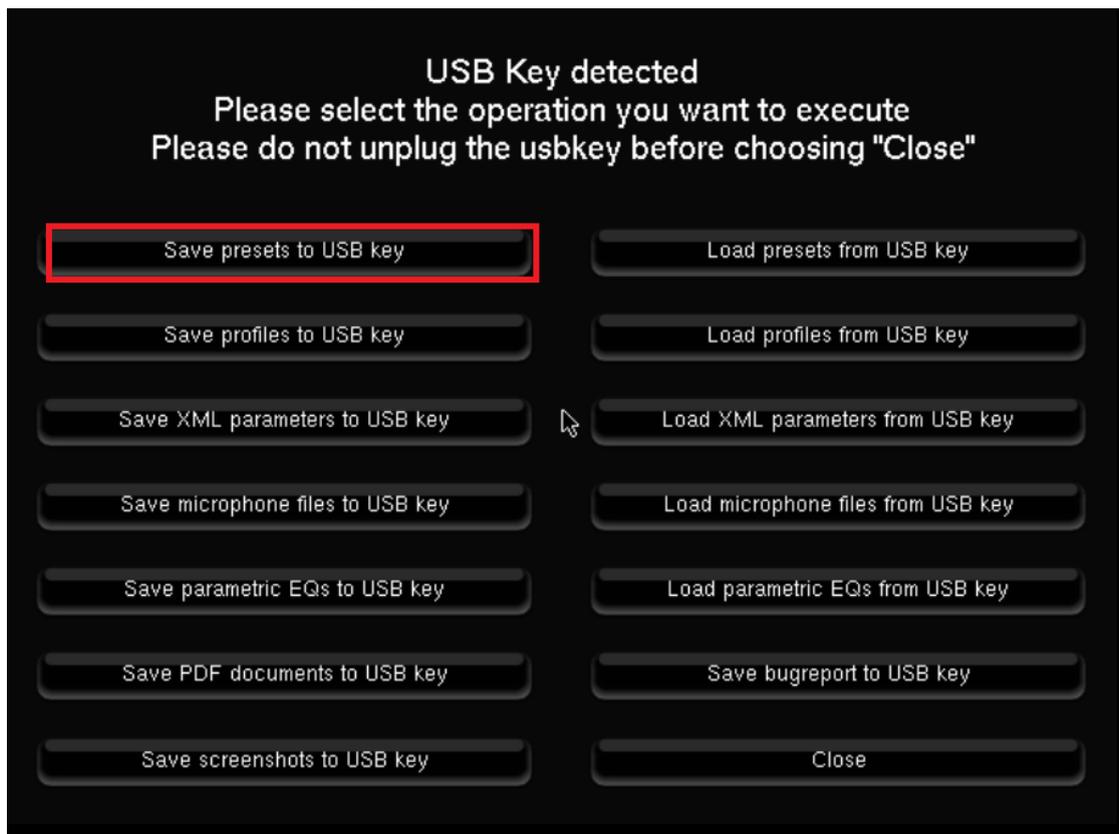


Preset の移動

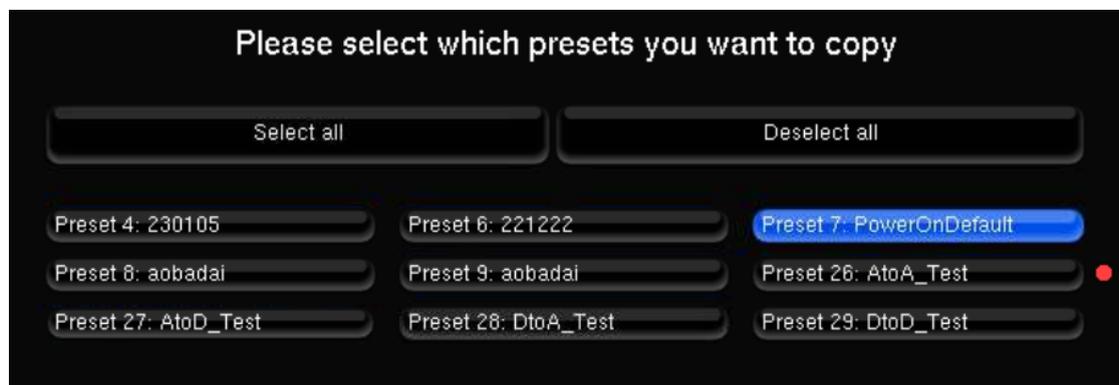
Trinnov プロセッサは、既存の Preset を別のプロセッサにUSBメモリーを介して渡すことができます。使用するUSBメモリーは、[FAT32](#) でフォーマットされているものを使用してください。

Preset をUSBメモリーに保存する

1. USBメモリーをプロセッサのUSBポートに挿して認識されると、本体から表示されているGUIが下図の様に変わります。
2. [Save preset to USB key] をクリックしてください。

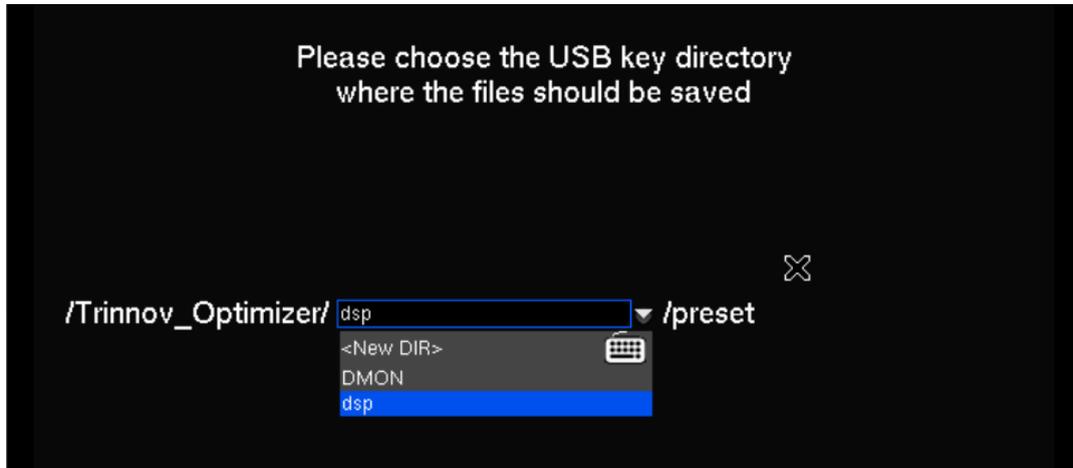


3. 保存したい Preset を選択して(次の図の例では Preset 7 のみが選択されています)[OK] をクリックしてください。

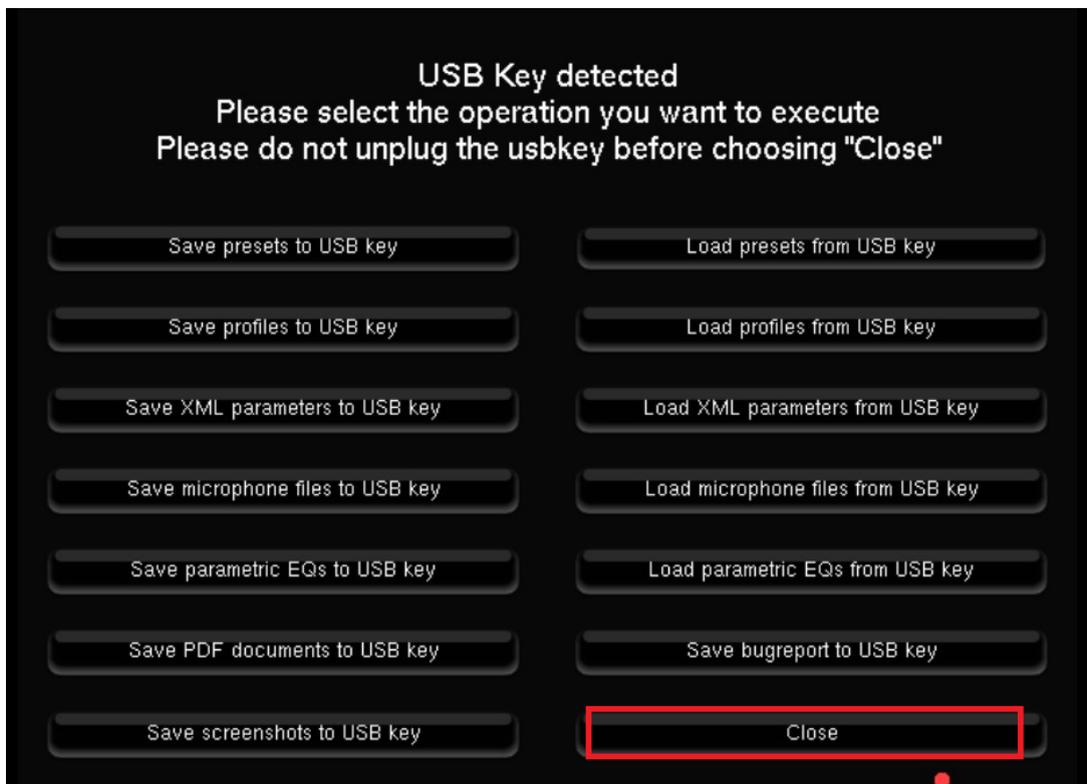




- 次に、Presetを保存するディレクトリーを指定します。USBメモリーにあるディレクトリーに保存するには、▼をクリックすると表示されます(新しいディレクトリーを作成して指定する場合は、<New DIR> をクリックして指定してください)。



- 最後に [OK] をクリックしてください。
この操作でUSBメモリーを挿した状態のGUIが表示されます。
Preset のコピーには、Presetの大きさにより若干時間がかかる場合があります。USBメモリーのアクセスLEDの点滅が終わるまで、そのままお待ちください。
- 安全にUSBメモリーを抜くために、必ず[Close]をクリックしてください。これで通常のGUIに戻ります。通常のGUIが表示されたらUSBメモリーを抜いて結構です。

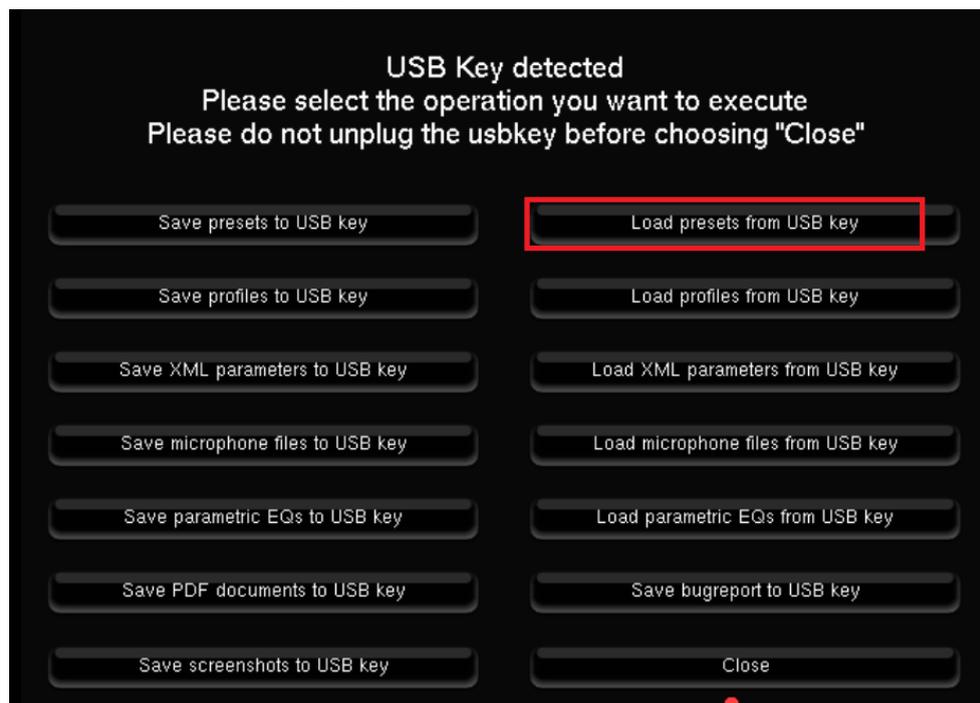




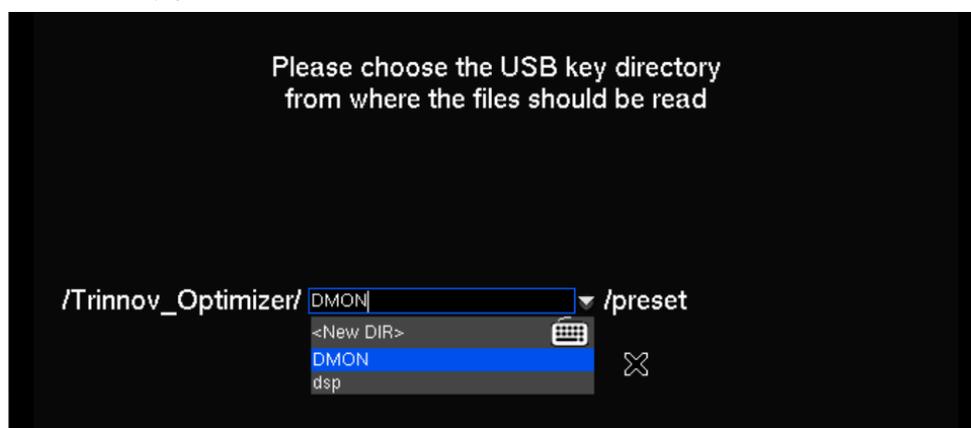
Preset をインポートする

***注意:** Preset は、名前ではなくPreset番号でインポートされます。例えば Preset 3 に入っていたPresetは、新しいプロセッサでも Preset 3 に配置されます。
現在の Preset 3 に入っている Preset を保護したい場合は、作業の前にその Preset の位置を移動させておいてください。

1. Presetの入ったUSBメモリーをプロセッサのUSBポートに挿してください。GUIが先ほどのGUIに変わります。
2. [Load presets from USB key] をクリックしてください。

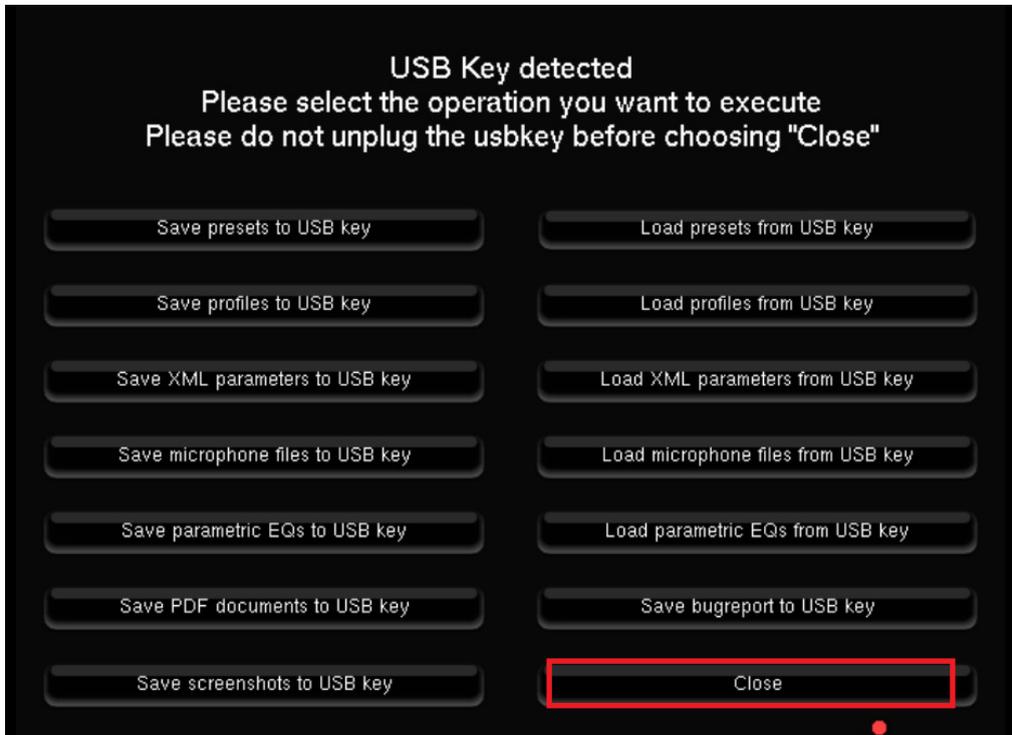


7. Saveの時と同様に、読み込む元のディレクトリーの入力を求められますので、Save時に入力したディレクトリーを入力してください。右にある▼をクリックすると、現在USBメモリーにあるディレクトリーを見ることができます。





8. ディレクトリーが決まったら、[OK] をクリックしてください。
9. ロード が終わり、最初の画面に戻ります。
Presetの大きさにより時間がかかる場合があります。USBメモリーのアクセスLEDが点滅を終えるまでお待ちください。
10. 最後に [Close] をクリックして通常のGUIに戻ったらBを抜いて結構です。



*注意:もしロードエラーなどが表示された場合、その Preset は再現されていません。書き込みや読み込み時点に何らかの障害が起こっています。

その Preset ページでそのPresetをクリックして読み込ませようとした場合、プロセッサがクラッシュ(何も操作ができなくなる)することがあります。

フロントパネルで通常のシーケンス通り電源を切り、LEDが消灯するのを待ってください。その後、再度電源を入れて、障害の起こった Preset を削除 (**C**lear)してください。



ネットワークを使って Preset や Mic ファイルを取り出す

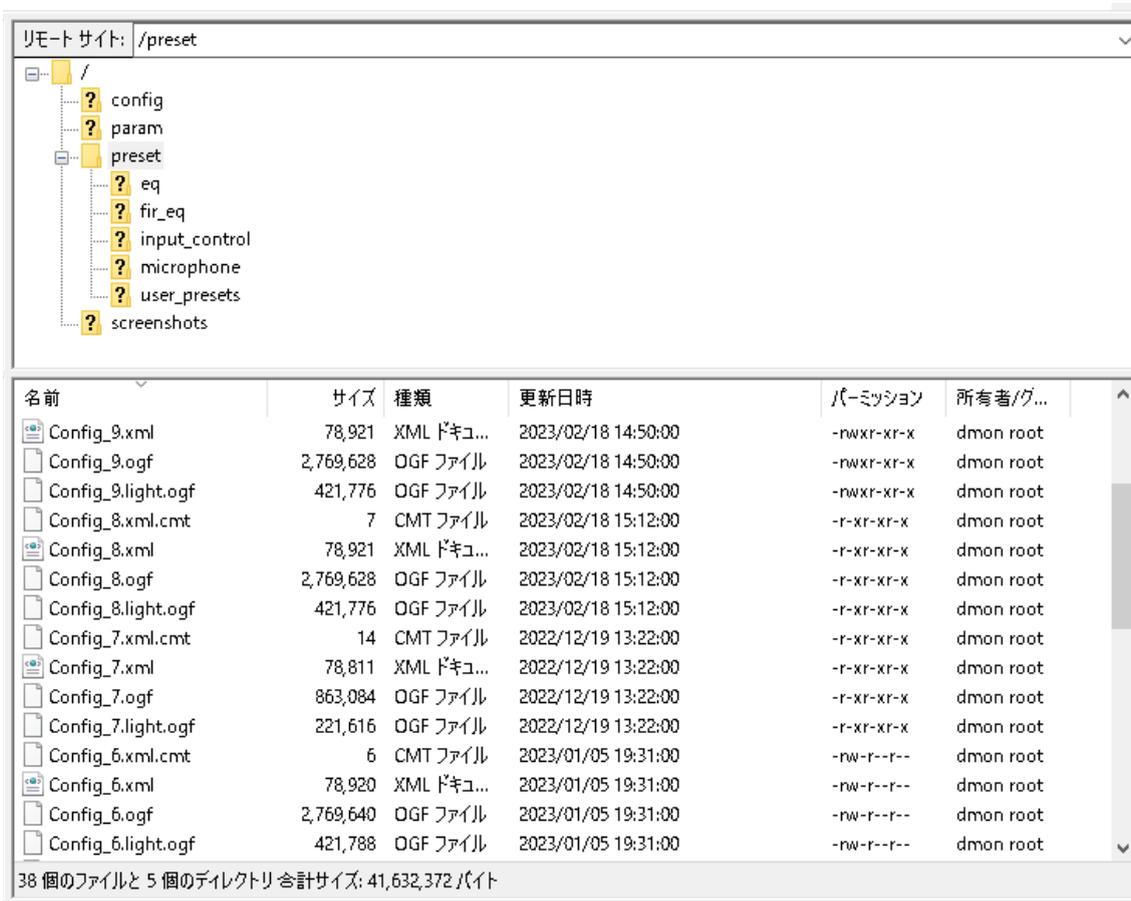
この作業には、ホスト(PC側)に FTPアプリケーションが必要です。

ソース側のプロセッサのIPアドレスにFTPアプリケーションでアクセスします。

- ユーザー名には「srp」と入れてください。
- パスワードには、プロセッサの [About] にある [Product ID] を入れてください。



Preset ディレクトリーに、プロセッサで保存されている Preset ファイルが保存されています。**Config_n.xml**, **Config_n.ogf**などをターゲット側のプロセッサの同様のディレクトリーにコピーしてください。



- Mic ファイルは、Preset/microhone に格納されています。